

# 日程と内容

2016年8月27日(土)

**第1単位** 10:15～12:00

**講演『地域医療と自治体病院をめぐる情勢について』**

**講師 山田 厚 (全国労働安全衛生研究会代表)**

地域医療と公立病院に迫る情勢をどう考え、どう対応していくべきか。新公立病院改革ガイドラインと病床削減の政府目標、医療関連法との関連とは？ 今の地方公営企業会計の財政状況をどう見ていくのか考えます。



**第2単位** 13:00～14:00

**記念講演『税が拡げる格差と貧困』—日本版タックスヘイブナー—**

**講師 浦野広明 (立正大学客員教授 税理士)**

税金の「使い方」も、税金の「取り方」も極めておかしい状態が、安倍政権の税制改悪で強められています。大企業と富裕層優遇その一方で生活を破壊する庶民増税など知られてない事実を学びましょう。



**第3単位** 14:05～14:45

**対談『企業会計からみた新公営企業会計のおかしさ』**

**対談 浦野広明と山田厚** そして会場の皆さんからの「ここがききたい」という質問から民間の企業会計制度からみても、新地方公営企業会計制度はおかしなことがかなりあります。ここではその疑問点・問題点と是正への取組みを考えます。



**第4単位** 14:50～16:10

**分散会 自治体議員分科会 (同時開催です)**

## ● 分散会

交流を重視した少人数グループによる分散会を行います。「うちの状況はこうです」といった肩のこらない交流です。地域における医療の現状や医療職場の心身の過重労働の実態などざっくばらんな交流を目指します。

## ● 自治体議員分科会

「公立病院をめぐる職場の現状」「この赤字決算にどう対応していくか」、地域医療を守る立場から自治体病院の決算や「改革プラン」に向けて自治体議会・委員会でもう対応すべきかの具体的な交流を行っていきます。



**第5単位** 16:20～17:00

**意見交換 地域・職場・議会からの報告**

参加者から医療職場・地域(自治体議員など)での取組みや提起など。地方公営企業職場、医療職場での健康と安全の状況と取組み、地域(自治体議員など)での自治体病院の公共性を守る取組みや問題提起などの報告を参加者からしていただきます。



# 第5回 自治体病院セミナー開催要綱

**日時** : 2016年8月27日(土) 午前10時～午後5時まで

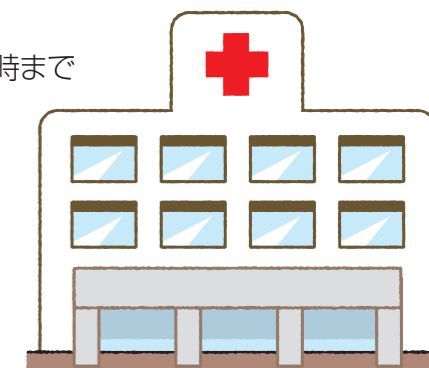
**会場** : 晴海区民館 東京都中央区晴海

**開催テーマ** : 「守ろう公立病院と地域医療」

**受講料** : 一般7,000円 自治体議員8,000円  
(町村議会と研究会会員の場合は6,000円)

**対象** : 公立病院医療従事者・医療衛生関係者  
公営企業会計対応者、自治体議員など

**主催** : 一般社団法人 全国労働安全衛生研究会 自治体研究部会



※入手できましたなら、前会計制度での25年度決算書と新会計制度となった平成26年度と平成27年度の決算書や関係する公立病院の『改革計画・プラン』がありましたらご持参下さい。なお、職場のニュースや資料もありましたならお持ち下さい。



## 昨年開催しました2015年の自治体病院問題セミナーの報告です

2015年8月29日に「第4回 自治体病院問題セミナー」が東京で開催されました。全国21の県から51名をこえる参加者となりました。今回の特徴ですが、そのうち20名が自治体議員の参加で、自治体議員の分科会が充実したことです。

医療と自治体病院は、今までになく困難な事態を迎えています。それだけに、この事態に対してしっかり立ち向かおうという参加者の熱意が感じられました。感想では「議員と職員の相互の意見を聞いてよかった」「次回も参加させてもらいたい」「情報交換や交流で事態の共有を」などが寄せられました。今後、「公的医療・各自治体病院を堅持するために連絡や連携を取り合しましょう」と確認し、成功裡に終わりました。戦争法案などに対する憲法9条を守る闘いと共に、憲法25条を守る闘いとして公的医療と自治体病院問題があることを再認識することができました。



第4回セミナーの全体会の様子です。



分散会の様子